

## 事業成果報告書（平成 21 年度）

補助事業番号 21-27

補助事業名 平成 21 年度 貿易手続への電子商取引導入のための調査研究等補助事業

補助事業者名 財団法人 日本貿易関係手続簡易化協会

### 1. 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

貿易手続を含む国際物流における諸手続の簡素化・効率化への対応と、IT 活用を図ることによる貿易への容易な参加を可能とする環境の構築のための調査研究を行い、中小企業の事業展開の高度化を推進し、もって機械工業の振興に寄与する。

#### (2) 実施内容

##### 「貿易手続への電子商取引導入のための調査研究等補助事業」

#### ① 貿易手続への XML/EDI 導入に関する調査研究

平成 21 年度までの調査研究を踏まえつつ、EU が進めている電子インボイス導入促進施策、就中、中小企業への普及支援のための施策、および米国に於ける輸出手続の電子化を調査分析すると共に、当該 IT 戦略の一翼を担う国連 CEFACT が開発を進めているサプライチェーン分野などの電子化プロジェクトの分析を行い、我国での実装上の問題点などについて調査、研究をおこなった。また、これらを踏まえ、我が国における業際取引の電子化のあり方も併せて調査研究をおこない、その成果を報告書に纏めた。

#### ② 国連 CEFACT フォーラム（札幌）の開催

当該フォーラムは、予定とおり、9 月 28 日から 10 月 2 日まで 5 日間にわたり、北海道札幌市、札幌コンベンションセンターにおいて成功裏に開催され、会期中の JASTPRO セミナーへの参加登録者を加えると世界 30 カ国から 256 名の参加者が集い、20 のワーキンググループなどが会議を行い、貿易円滑化と電子商取引の国際的な標準化を進めていく上での世界各国共通の課題や、その解決策などについて意見を交し、2009 年 11 月に開催される第 15 回国連 CEFACT 総会に向け、今後の活動の方向付けを行った

### 2. 予想される事業実施効果

#### ① 貿易手続への XML/EDI 導入に関する調査研究

この 10 年間我が国の貿易手続の円滑化・効率化は、その進捗度に於いて意見は分

かれるものの、その改善に向けて着実な歩みを続けて来たと言える。しかし問題は、我が国の産業、就中、製造業がこれからの国際市場に於ける生存競争（に勝ち残ることが出来るか否か）である。今後、我が国のシングルウィンドウを中核とする貿易関係手続の EDI による電子化（＝ペーパーレス化）のあるべき姿について官民の貿易関係者の間に於いてコンセンサスを構築し、生き残り戦略を進めて行くには、今後想定される、我が国の貿易に携わる企業、（就中、中小企業）のグローバルイゼーションの中での国際取引におけるビジネス・シーンを基に、求められる XML/EDI システム基盤の姿（グランドデザイン）を作成し、そのグランドデザインの達成に必要な装備としての情報通信関係の要素技術や国際標準等を、欧米の戦略と伍して我が国の国際競争力を高めて行く戦略的インフラを装備するとの視点で、何を優先的に取り組むべきかを検討していくことが重要であると考え。この見地から、報告書に記述した国内業界界に止まる XML/EDI から業際標準への脱却に向けての提言によって、その実現に向けて建設的な論議が進められて行くと思える。

## ② 国連 CEFACT フォーラム（札幌）の開催

当該フォーラムにおいては、WTO の構築してきた基盤上に立ち、貿易手続をより簡素で効率的なものにする施策の実施を勧告として各国に促し、その時代時代で利用可能な情報通信技術を選びすぐり駆使した電子化により貿易取引の効率化を促進する為の技術標準の開発を進めるというイニシアチブを官民パートナーシップによって地道に進めるという国連 CEFACT の活動ビジョンが内外の参加者によって再確認された。その共通認識の下、世界各国が、経済をデフレスパイラルによる縮小均衡に陥ることなく、持続的成長軌道に乗せるには、情報通信技術を始めとするイノベーションをバネにして、新たな社会基盤の再構築を産業横断的に進める事が必須であり、その為の総合戦略を支える国連 CEFACT による XML/EDI を基盤とする電子ビジネスの国際標準の果たすべき役割は今後更に高まると考える。

## 3. 本事業により作成した印刷物等

「平成 21 年度貿易手続への XML/EDI 導入調査研究特別委員会報告書」

## 4. 事業内容についての問合せ先

団体名： 財団法人 日本貿易関係手続簡易化協会

（ニホンボウエキカンケイテツヅキカンイカキョウカイ）

住所： 104-0032

東京都中央区八丁堀 2-29-11 八重洲第五長岡ビル 4 階

代表者： 理事長 勝俣宣夫（カツマタ ノブオ）

担

当部署： 業務第三部

担当者名： 部長 平井一海（ヒライ カズミ）

電話番号： 03-3555-6084

F A X： 03-3555-6032

E - mail： k-hirai@jastpro.or.jp

U R L： <http://www.jastpro.org>